

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2016年6月 相談集計報告

○全体の特徴

■相談件数が昨年同月と比べて約600件減少しているが、これは例年6月に実施している「女性のための全国一斉労働相談」を今年は5月にすでに実施した(5/19-20)ことに伴う減少であり、例年並みの件数となっている。

■前年同月と比べて、年代別では40代からの相談が増えた。また雇用形態別では、パートが547件・43.7%と全体の約半数を占めている。業種別では「医療・福祉」(16.7%)、「サービス業」(16.5%)と続く。相談内容別では、昨年同月と同様に「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」に関する相談が最も多くなっている。

■具体的な相談内容としては、「自分は4年後に定年になるのでその間は問題を起こすな。自分に逆らう者は許さない」など、老人ホーム施設長による暴言やパワハラに関するものや、「施設利用者からの苦情を理由に即日解雇された。しかし、利用者本人に確認したが、そのような事実はなかった」といった不当解雇など、医療・福祉現場におけるパワハラ・嫌がらせ、解雇・退職強要・契約打切の相談が多く寄せられている。

		2016年		2015年			
集計対象期間		6月1日～6月30日		6月1日～6月30日			
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		1,252		1,840			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	619	49.0%	男性	765	42.9%	
	女性	643	51.0%	女性	1,018	57.1%	
年代 (不明除く)	10代	8	0.8%	10代	14	1.0%	
	20代	126	12.7%	20代	170	12.4%	
	30代	213	21.5%	30代	310	22.6%	
	40代	328	33.1%	40代	406	29.6%	
	50代	219	22.1%	50代	303	22.1%	
	60代	86	8.7%	60代	148	10.8%	
	70代	11	1.1%	70代	19	1.4%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	119	9.5%	正社員	860	51.1%	
	パート	547	43.7%	パート	308	18.3%	
	アルバイト	207	16.5%	アルバイト	82	4.9%	
	派遣社員	76	6.1%	派遣社員	111	6.6%	
	契約社員	108	8.6%	契約社員	138	8.2%	
	嘱託社員	104	8.3%	嘱託社員	9	0.5%	
	臨時・非常勤職員	10	0.8%	臨時・非常勤職員	17	1.0%	
	その他	82	6.5%	その他	157	9.3%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	136	16.7%	医療・福祉	223	17.9%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	134	16.5%	製造業	217	17.5%
	3位	卸売・小売業	129	15.9%	サービス業(他に分類されないもの)	205	16.5%
	4位	製造業	117	14.4%	卸売・小売業	145	11.7%
	5位	運輸業	84	10.3%	運輸業	84	6.8%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	177	14.1%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	328	17.9%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	151	12.1%	解雇・退職強要・契約打切	169	9.2%
	3位	雇用契約・就業規則	101	8.1%	雇用契約・就業規則	138	7.5%
	4位	退職金・退職手続	89	7.1%	退職金・退職手続	108	5.9%
	5位	賃金未払	66	5.3%	年次有給休暇	101	5.5%